

## 平成28年度 第1回がまごおり協働まちづくり会議要旨

日 時 平成28年 7月 1日(金)  
午後1時00分～午後3時00分  
場 所 蒲郡市役所新館3階302会議室

### 1 挨拶

- 和泉会長挨拶と全員の自己紹介

### 2 議題

#### (1) これまでの経緯について

##### ア 前回のまちづくり会議要旨について

- 事務局より報告
  - ・前回まちづくり会議要旨を振り返る。
- 結論
  - ・会議要旨の承認＝会議要旨の公開

#### (2) 助成金追加募集の結果報告について

- 事務局から資料3について説明
  - ・市民団体「小江まちカフェ」が夏休み中における弧食や食べられない子どもの解消や子どもの居場所づくりのための子ども食堂として地域の子どもと大人が顔見知りになる事業が採択。
  - ・対象地域は、まちづくりセンター周辺

#### (3) モデル事業実績報告について

- 石川委員から実績と進捗状況について報告
  - ・4月から本格運用し、各回40名以上の参加者があった。
  - ・食事は200円以内で提供できるようになった。
  - ・すぎ薬局が毎回健康相談を実施してくれている。
  - ・ボランティアフェスタと居場所の合同フェスタを実施予定。
- 委員意見等
  - ・近隣の市町村とバランスを考えた蒲郡市全体のランドデザインをどう描いて、それに沿った安全で安心のまちづくりが必要。そのデザインに沿って各種団体がどう「まちづくり」に関わっていくのか？を評価していく視点が必要である。

#### (4) フルモデルチェンジの進め方について

- 事務局から資料1について説明
  - ・昨年度に提示されていた日程より変更があり、日程の修正案を提示。
  - ・まちづくり会議へ制度設計の提示ができるのは10月を予定。
  - ・各委員でワーキングに向けた要望があればメールにて提示してもらいたい。
  - ・制度確定できたものから運用していくことを想定している。
- 委員意見等
  - ・助成金制度設計には公募事業・推進事業・育成事業・センター事業を要望。
  - ・助成金がどうあれば使いたいと思うかを意見集約する。

→審議期間が3ヶ月以内の短さになってもらいたい。

- ・社会福祉協議会にボランティア支援制度があるが3/4の助成になっていて、市民団体としても無理しないと申請できない。民間助成では100%助成というものもあり、使い勝手が良いものもある。

→信頼度(プラチナカード、ゴールドカード、シルバーカードなど)によって100%助成ができる形や、他の助成制度で3/4助成を受けても信頼度によって1/4を市として助成できれば団体にとっても良い。

- ・書類申請が多いと負担になってしまっている。  
→申請が自動的に作成できるソフトウェア開発がこの事業であっても良い。
- ・新規事業を考えなければならないのが難しい。今ある活動内で満足しているから助成金を活用できていない。  
→年齢を重ねてくると新たな担い手にバトンタッチする事業としてこの助成金の展開例が出てきたら素敵である。バージョンアップや次の担い手のための助成金であると良い。
- ・従来の助成金の問題点を整理してフルモデルチェンジに生かしてもらいたい。
- ・過去の助成団体の継続や辞められたのかなどの検証が必要である。採択された事業について蒲郡市のためになっていたのか？効果を上げたのか？を検証し、継続事業にも助成していく制度があっても良い。

#### ○ 結論

- ・資料1の条件①～⑦を踏まえて議論していく。
- ・ワーキング前に事務局は、各委員から質問形式のメールで意見集約をする。
- ・意見集約した後で、ワーキングを実施し、議論内容をまちづくり会議で提示する。
- ・ワーキングより提示された検討内容についてまちづくり会議で審議していく。

#### (5) フルモデルチェンジのワーキングメンバー構成について

##### ○ 事務局から資料2について説明

- ・ワーキングメンバー構成は、学識経験者・基金検討部会メンバー・他市中間支援組織・がまごおり市民まちづくりセンター・行政関係者の構成で予定し、具体的な対象者については現在調整中。

##### ○ 結論

- ・メンバーについては会長と事務局に一任。

#### (6) 平成28年度のまちづくり会議について

##### ○ 事務局から資料5について説明

- ・概ね2ヶ月に1度のペースでまちづくり会議を実施予定。
- ・ワーキングは8月と9月にて実施予定。

##### ○ 結論

- ・ワーキング会議1回目 委員から郵送やメールにて意見集約し議論していく。
- ・まちづくり会議2回目 議論内容を提示しまちづくり会議で検討していただく。
- ・ワーキング会議2回目 修正点について再びワーキングにて議論していく。
- ・まちづくり会議3回目 原案を確定させる。
- ・12月以降にフルモデルチェンジの助成金運用を実施していく。

3 その他

- 次回以降スケジュールについて
  - ・事務局より提案。

欠席者 小林英委員 数 1 1 人中出席委員 1 0 人（会議成立）